



2025年11月11日
第67号

JR 東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

申6号 2025年度年末手当に関する申し入れ

第3回団体交渉を行う！

会社回答
基準内賃金の

2024年度年末手当
2.8ヶ月+0.1ヶ月

2025年度夏季手当 2.8ヶ月
年間で5.9ヶ月

**3.0ヶ月
+0.1ヶ月**

【支給日（予定）】令和7年12月3日（水）

【対象社員数】44,300人

【平均年齢】40.1歳

【平均支給額】1,161,700円

【平均基準内賃金】374,730円

+0.1ヶ月の趣旨

令和7年7月にJR東日本グループの新しい時代の構築に向けた経営ビジョン「勇翔2034」を掲げ、その実現に向けた社員一丸となった取組みが始動したことを踏まえて加算。

怒りの声



社員の努力に報いていない／目まぐるしく変わる施策に必死に対応しているがその結果がこれでは来年以降のモチベーションは上がらない／増収増益で高輪ゲートウェイも好調。黒字で体力もあるのに3.7ヶ月分を支払える体力はあるはずだ／上方修正しているのになぜ現場の努力が反映されないのか／少ない。業績が上がっている／物価高を考えて欲しい。お米の価格は去年の倍になっている。賃金が追いついていない／去年よりマシだが要求を考えて足りていない／株主配当をあれだけ上げるその原資はどこから出ているのか／昔からだ、会社は社員の方は向いていない／勇翔2034への期待で0.1ヶ月+するぐらいならむしろいい。+0.1ヶ月という恩着せがましい姿勢に頭にくる。なぜ純粋3.1ヶ月と出さないのか！到底納得出来ない／期末手当は頑張ってもらうために出すという性質のものではない。回答自体がおかしい／人も居なくみどりの窓口混雑緩和の為、なんとかやりくりしている。0.1ヶ月で「頑張りに期待」と言われても、既に0.1ヶ月以上頑張らされている／年間6カ月に届いていない／要員不足の現実が経営幹部には見えていない、現場との乖離が深まっている／労働組合敵視だけで出しているようにしか思えないし、これで求人が来るのか／労働者の努力を蔑ろにしている回答／等々…

私たちの要求とかけ離れていることから本部は回答を持ち帰り、全地本代表者と議論の末「緊急再申し入れ」提出を決定！！